

第58年度 D.2610 ROTARY CLUB OF KOMATSU



# 小松ロータリークラブ会報

■会長：中川 公三 ■幹事：嶋田俊一郎 ■副会長：西沢 耕一 ■会長エレクト：中橋 勝美

2012～2013年度 国際ロータリーテーマ

奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

奉仕、私はロータリーを信奉する

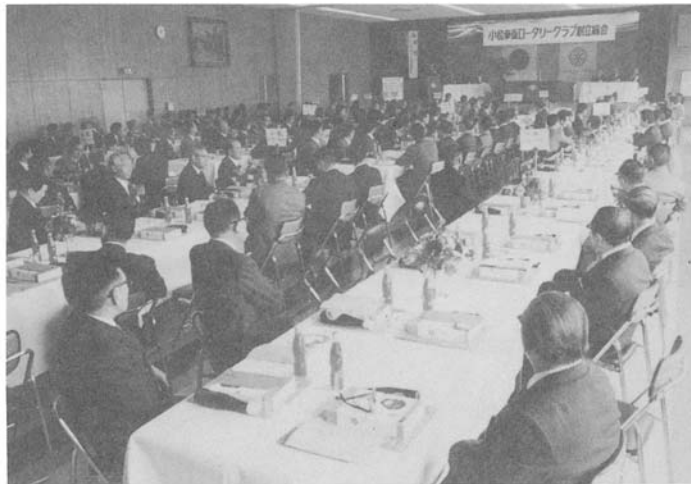
## 小松東RCが創立総会

4月2日 県内16クラブの代表ら出席

小松東ロータリークラブの創立総会は4月2日、小松商工会議所大ホールで行われ、6月18日の認証式を待って正式発足する。小松ロータリークラブがホストクラブとなって創立されたロータリークラブは能美、加賀について3クラブとなった。

### 会員33人で仮発足 6月18日に認証式

この日の創立総会には 361地区のガバナー田山敏男、パストガバナー安田常男、ガバナーノミニ一石黒伝六の各氏や、小松、能美、加賀RCなど石川県内の17クラブの代表ら188人が出席。加登周一特別代表の点鐘とホストクラブの小松RC伊東清雄副会長の開会の辞で開会、加登特別代表が来賓、参加クラブ、小松東RCの会員33人を紹介した後、議長に柿田吉松会員を選び、同クラブの定款、予算、役員、理事を決定、選任した。



記念パーティーに移った。

記念パーティーは石野会長のあいさつで開会、田山ガバナーの発声で乾盃、小松東RCの結成を祝福し、石黒ガバナーノミニの音頭で万歳、ロータリーソング「手に手つないで」を全員で合唱。富永敏小松東RC副会長が閉会のことばを述べて終った。

### 東RCと歓送合同例会

小松東ロータリークラブに移籍した19人の会員の歓送会をかねた小松ロータリークラブと、小松東クラブの合同例会が3月31日夜、同市内のまるや楼で行われ、小松東クラブの新入会員14人が紹介された後、両クラブの発展と兄弟クラブ同志の協力を誓い合って懇親のひとときを送った。

初代会長に選ばれた石野伊之作会長が「会員、各クラブと手をたずさえ、ロータリーの友愛と奉仕の人生大道を歩み、人類、社会につくしたい」とあいさつ、加登特別代表の告辞、田山ガバナー、安田パストガバナーの祝いのことばがあって閉会、

小松ロータリークラブ 月報 (昭和52年4月号)

小松ロータリークラブ あの日あの時



事務局 〒923-0957 石川県小松市本折町33 小松グランドホテル2F  
TEL.0761-24-1340・FAX.0761-24-4700  
E-mail: office@komatsu-rc.jp URL: http://komatsu-rc.jp/  
クラブ会報委員会〈委員長〉数左 従光〈委員〉斉藤 浩・後藤 尚彦

## 会長挨拶・報告 中川 公三



本日のゲストは、越前竹人形の里、理事長の師田龍一郎さんです。後ほど「竹工芸の魅力と継承事業」と題して卓話をいただきます。

私は20歳代後半から40歳代後半まで約20年間福井市に住んで居ました。当時丸山の山裾の道を通る時、越前竹人形の里の看板を見受け、一度は行こうと思っていたのですが、とうとう行かず仕舞になっております。越前竹人形という響きの中に、水上勉の話とか、その辺の事情を少し聞かせていただければ嬉しいです。本日はおいでいただき有難うございます。

先月28日、家族親睦旅行にて、奥飛騨、大露天風呂と新穂高ロープウェーの旅に総勢23名で行って参りました。出発前は暗雲ただよい、どしゃ降り予想し前途多難かと覚悟していましたが、しかし、殆んど傘の必要も無く、山の紅葉も素晴らしく、アルプスの山々も見え、露天風呂も満喫しました。私は、今年度のスローガンとして、ロータリーの実践の中で自らを高めようと言いましたが、我々はロープウェーで2,150mまで自らを高めて参りました。しかも楽しい旅でした。

## ★委員長報告

## 小松市文化賞受賞お祝

中田 一 於 会員



## 卓話

## 「竹工芸の魅力と継承事業」

紹介者：八十山和代 会員

越前竹人形の里  
理事長

師田 龍一郎 様



## ①竹の素材について

- ・竹は亜熱帯地方に多く分布し、日本の本州が北限である。
- ・縦の繊維と節の中空構造で成長の世界一速い植物である。
- ・木のように年輪はなく年数とともに太さが変わることはない。
- ・素材としての魅力は表皮自体が美しいため、加工後塗装等の仕上げが不要である。また天然素材であるため、50年以上の使用に耐える耐久性もある。

## ②竹の加工について

- ・「竹はその心をもって加工せよ」と昔から言われていたように、縦の繊維の中空構造の特性を熟知して加工しないと、思うように言うことを聞かない素材である。
- ・主な加工法として、以下の使い方が主なもの
  - 竹筒をそのまま利用する（物干し竿、ひしゃく、横笛）
  - 弾力性を生かす（釣り竿、弓）
  - 収縮性の少なさを利用（物差し）
  - 割りやすい（ひご、箸、茶せん、かご）
- ・越前竹人形は主に竹筒をそのまま生かした加工が主である。

## ③越前竹人形の歴史

- ・昭和26年あたりに木工芸や花額を製作していた祖父 師田保隆と弟 三四郎が、花額製作で出る廃材を利用し考案した。
- ・昭和30年代に入り、父黎明が家業を継いだ当時は採算がとれてない状況で、下請け制度を導入したり、製造過程の合理化を進めた。
- ・昭和38年福井県出身の直木賞作家 水上勉の小説で全国的に知名度が上がり、生産が追いつかなくなるほどのブームが起こる。
- ・昭和50年代に入り下請け職人の高齢化と後継者不足が深刻な問題となる。
- ・昭和59年後継者育成を目的として越前竹人形協同組合を設立し、PRと収益事業として観光ドライブイン「越前竹人形の里」を開業し現在に至る。

## ④竹人形の加工について、また難しさなど

- ・竹は根元から一節ごとに細くなっていくので、竹筒を丸のまま胴体を使うことが多い竹人形は、太さの誤差を計算して作らなければならない。
- ・同じく胴体の内径に合う竹を探して詰め物をする手間が大変である。
- ・丸筒のままだと割れる可能性があるため、割れが入りにくい工夫をしている。

## ⑤民芸品から芸術性のある工艺品へ

- ・過去は観光土産物としての需要が多かったため、安価で簡単なものがほとんどだったが、竹人形の評価を高めるため、父黎明は創作竹人形に挑戦していく。
- ・手足の指や顔の表情を出すため、塊にした竹を削り出して製作し、髪の毛は0.2mmに割って数千本を植え込み製作期間は2～3か月を要する。また、袖や胴体は表皮を残した浮かし彫り模様も施す。

最後にまとめとして、私自身の事業継承と後継者育成についての豊富（時代にあったデザイン性の追求など）を述べさせていただきます。竹人形工芸への理解をお願いし卓話とさせていただきます。

## 例会報告

★ 11月8日(木)〈例会〉 於：小松グランドホテル  
・会員数 63名 ・出席数 42名 ・欠席数 21名 ・出席率 66.67%

### ★メークアップ届

- ・ 10/19 能美RC 中川、嶋田
- ・ 10/28 秋季家族親睦例会 中川、出口、角谷、数左、西、野尻、斉藤、嶋田、谷内
- ・ 10/28 地区ロータリー財団委員会 湯浅外志男
- ・ 10/28 地区ロータリー財団委員長会議 湯浅外志男、中橋
- ・ 11/1 第5回地区副幹事会 湯浅外志男、堀、中西、野尻、澤矢、寺田、嶋田、川腰、上出、杉本、福島

## ニコニコBOX

中川 公三

師田様、卓話有難うございました。今度は是非訪れて見学したいと思います。また、先日の家族親睦旅行は楽しい旅でした。山の紅葉が目には焼きついて、焼け岳もきれいでした。

野尻 順滋

師田様、お久しぶりです。今日はせっかく卓話をいただきながら、お話をお聞きできず残念です。これからも益々お元気で活躍下さい。中田さん、小松市文化賞受賞おめでとうございます。

嶋田俊一郎

師田様、本日はお忙しい所、卓話いただき有難うございました。私は2回見学に行きました。また機会がありましたら行きたいと思います。

本田 外男

誕生祝有難うございます。今年も元気で例会に出席しています。

西 正次

誕生日のお祝い有難うございます。60歳代に入り、自分の健康管理して、早朝ウォークを継続したいと思えます。

那谷 忠雄

中田一於氏、小松市文化賞、徳田八十吉氏、日本工芸会正会員、松山氏御令室日展初入選、皆様おめでとうございます。中川会長御令室が三十数年の力作の手芸モラ展を10日より松の家にて開催します。皆様是非お越し下さい。

中田 一於

お陰様で11月3日、小松市文化賞を拝受致しました。当日は、ロータリークラブからも大勢の皆様にご臨席を賜りまして、心より御礼申し上げます。今後共よろしくお願い致します。

八十山和代

師田様、本日はお忙しい中、卓話をして下さり、本当に有難うございます。師田様の歴史を含め、たっぷり竹の話が聞けて感動しました。

2796回 2012年11月15日 例会

於：小松グランドホテル

## 会長挨拶・報告 中川 公三

去る10日と11日に富山国際会議場にて、本年度2610地区の地区大会が富山大手町RCをホストとして開催されました。当クラブは次期地区大会のホストクラブなので、大会運営の勉強を兼ねて20余名大挙参加しました。地区大会と言えば、以前よりお祭りの要素が強かったのですが、今年はやや地味でロータリーの本質にせまり、今後を追及する傾向に変わってきているように感じました。大会1日目は、熊本県知事蒲島郁夫氏の「人生は夢」、2日目は伊那食品工業株式会社社長の塚越寛氏の「みんなのために」と題する講演がありました。彼らは職業を一生懸命に遂行し、成功の人生を営んでいるのですが、その心はロータリーで言うところの四つのテストにかなった職業奉仕、超我的奉仕的要素が彼らの職業の基本にあるのです。「最も多く奉仕する人が最も大きい利益を得る」ということが彼らの中に実現されているのです。そのように今年の地区大会はお祭りの親睦の中にロータリアンのあるべき姿の原点を求めている大会でもありました。大会の最後に我々小松クラブ全員が、PRの垂れ幕を持って壇上に上がり、中橋会長エレクトの挨拶、野尻直前会長が歌舞伎の口上による次期地区大会の呼びかけをして、大成功でした。来年は湯浅ガバナーのもと、当クラブ一丸となって地区大会を成功させるべく頑張りたいと思います。

## 卓話

### 「米山奨学生卓話」

2012.4月～2014.3月

米山奨学生

李 叡 様



まず、自己紹介させていただきます。私の出身は中国の大連市です。両親が旅順の人で、親族は旅順で住居しています。両親は教育業に従事し、父は大連市教育庁の公務員であります。母は高校の教師で、すでに退職しましたが、私の留学費用のために、定年した後の生活を充実させるためにも、昨年から工芸品店を運営している。

大学は大連大学の医学部の口腔専門で勉強していました。大学に入ったから自分の球技のわざと組織力と果たし、医学部の学生会の体育部長を務めていました。医学部の学生たちは学校のスポーツ大会に参加することを企画しました。これは私自分を磨きます。大学院の入学試験にも参加しましたが、残念ながら、合格しませんでした。中国の大学院の試験は日本より難しく、競争が激しいです。大学の最後の1年は病院でインターシヨップをし、実際の医療技術を身に着けました。病院でのインターンシップは日本へ留学する契機になりました。

石川県立大学の前身は石川県立短期農大です。学校はそんな広くないですけど、立派な学校だと思います。食品、生産、環境三つの専門があり、私の専攻は食品科学、食品の安全性を確認するという専門です。最初の一年はまた研究生でした。入学試験で研修生の一年間の研究結果を発表するために、ずっと実験をやりました。入学試験を合格し、ついに博士になります。去年は博士一年目、卒業までの論文要求を見て、圧力を感じました。普通の学校は雑誌発表論文一本で十分ですが、石川県立大は二本を要求されます。そして、両親の負担を少しでも軽減したいと思って、勉強とアルバイトを両立しながら、研究を続けました。今年

は二年目入ります。大変ですけど、これは自分にも鍛錬になると思います。毎日学校の授業や実験をして、とても充実です。早めに卒論のために、学校でこつこつ勉強しています。アルバイトする時間はほとんどなくなります。しかし、日本の物価は中国より高く、実家からの生活費はたりたりです。だから、アルバイトをしなければならないです。週末はアルバイトして、平日は学校で研究をしていました。体は疲れたし、勉強の効率も低下でした。しかし、若いときこのような試練はなくてはならないと思います。

今年、ロータリー米山奨学生として認定され、月々14万円を貰うことになりました。私にとっては夢のようなことでした。順調に卒業できるために、3月からアルバイトをやめました。週末も学校で勉強できております。毎日8時半ぐらいに学校から、帰宅は9時半ぐらいです。勉強の時間と効率は両方も増加しています。最近卒論の一本を書き始めました。沢山の英語論文を参考しながら、英語で論文を書きます。英語の勉強になり、専門知識も身付できると思います。論文をはやく終わるために、夜12時まで学校で勉強することは普通のことになります。今から、次の卒論の実験のデザインや構成を考えています。毎日忙しいですが、楽しいと思います。今までの生活の悩みがなくなり、勉強に専念できるようになりました。そして、アルバイトをする時間も勉強に使えるようになりました。休みや週末の時間をうまく利用して、日本の文化や景色を自分自身で味わっていました。ロータリー米山奨学生になってから、新たな体験ができています。毎月一回の例会で、皆さんと話して、日本をもっと深く理解できるようになりました。

以上になりますが、これから皆様のご健康と、ロータリークラブのますますの発展をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

## 例会報告

★ 11月15日(木)〈例会〉 於：小松グランドホテル  
・会員数 63名 ・出席数 36名 ・欠席数 27名 ・出席率 57.14%

### ★メイクアップ届

- ・ 11/7 野々市RC 湯浅外志男
- ・ 11/7 小松RAC 出口
- ・ 11/10 地区大会 中川、中橋、那谷、湯浅外志男、堀、西、中西
- ・ 11/11 地区大会 中川、中橋、野尻、西沢、嶋田、湯浅外志男、堀、本村、那谷、中西、西、川腰、寺田、数左、谷内、山崎、澤矢、杉本、山本、蓮井正亮、蓮井正樹、斉藤、小林朋子、宮城、八十山

## ニコニコBOX

中川 公三

李様、卓話ありがとうございました。これからも学業に頑張り、日本の生活をエンジョイ下さい。古玉様、本日はようこそ。

嶋田俊一郎

李さん、卓話ありがとうございます。日本で学んだことを中国で生かして下さい。

蓮井正樹

李さん、卓話有難うございます。

2797回 2012年11月22日 例会

於：小松グランドホテル

## 会長挨拶・報告 中川 公三

本日のゲストは、(株)サクセスブレイン 代表取締役社長 岩木弘勝様です。後程「勝ち組企業の秘訣に学ぶ」と題して卓話をいただきます。

私は医師で開業医ですが、医業における勝ち組とは何かと考えてみましたが、患者がいなくて閑古鳥が鳴いている状態は負け組でしょうが、医療法においては医師が利益を追求することが禁じられています。勝ち組とは患者さんに満足していただける医療を提供できるということでしょうか。あまり、はっきりしません。

16日に宝友会のフルーツと電子オルガンの演奏付きお食事会がミュージューで開催されました。約20名が参加し、親睦を深め、楽しい一時を持ったとのことでした。また、第1回家庭集会在本村会員の喜楽庵で開催されました。西R情報委員長のもと、3年以内の新会員4名を交えて、「小松ロータリーの社会奉仕を考える」というテーマで勉強と親睦を持ちました。

## 卓話

### 「勝ち組企業の秘訣に学ぶ」



株式会社 サクセスブレイン  
代表取締役社長

岩木 弘勝様



(紹介者) 塚本 幹雄 会員

## 例会報告

★ 11月22日(木)〈例会〉 於：小松グランドホテル  
・会員数 63名 ・出席数 41名 ・欠席数 22名 ・出席率 65.08%

### ★メイクアップ届

- ・ 11/13 第5回ミニフォーラム 谷内、原後、上出、川腰、小林幹雄、西、岡田、大西、新滝、新谷、山本、濱本
- ・ 11/18 派遣交換学生向け第1回オリエンテーション 齊藤
- ・ 11/20 第1回家庭集会 西、中川、嶋田、角谷、本村、川腰、後藤、濱本、小倉

## ニコニコBOX

中川 公三

岩木様、本日の卓話有難うございました。これからご活躍下さい。

松多 伸悟

岩木さん、本日卓話にお越しいただきまして有難うございます。本日の卓話から何かひとつでも持って帰って今後の仕事に生かしたいと思えます。また、今後もいろいろとお忙しいと思いますが、お体に気をつけて、益々のご発展をお祈りしています。今後とも宜しくお願いします。

嶋田俊一郎

岩木様、お忙しい所卓話いただき有難うございました。野尻さん、また口上をお願い致します。

塚本 幹雄

岩木様、本日は大変お忙しい中、卓話をしていただきまして、有難うございました。経営することによって大変貴重なお話、今後に生かしたいと思えます。岩木様の今後のご活躍をお祈り致します。

野尻 順滋

岩木さんのお話には、いつも納得させられることが多いです。今日も具体的なお話有難うございました。嶋田幹事より、口上のご褒美を頂きました。大失態だったのに、ご厚情に感謝します。

蓮井 正亮

83歳の老いの身で、恐る恐る白内障の手術をうけてきました。手術後、眼帯はずしたら、しゃぼの明るいのにびっくりしました。

2798回 2012年11月29日 例会

於：小松グランドホテル

## 会長挨拶・報告 中川 公三

今年も残り1ヶ月余りとなりましたが、本日のゲストは本願寺文化興隆財団 参議 大谷祥子様です。後程、徳田会員より略歴紹介の後、卓話「佛に学ぶ日本の心」と琴の演奏をいただきます。

大谷家といえば親鸞聖人より続く日本有数の家系であります。小松近辺の人々はほぼ100%本願寺門徒でありまして、そういう意味ではいつもお世話になっているわけでありまして。私は学生時代を京都で過ごしましたが、毎年今頃報恩講のため、両親が上洛し本願寺のイチョウの黄葉の下でこづかいをもらったことが懐かしく想い出されます。昔はいろんな意味で生活と宗教が一体となっていたのです。

## 卓話 「佛に学ぶ日本の心」

本願寺文化興隆財団  
参議

大谷 祥子様



11月28日は本山報恩講でございました。翌29日の朝は必ず「おさらいの御文」という吉崎御坊を護る多屋の奥様方へ書かれた御文が読み上げられます。「のちの世の志るしのために かきおきし のりのことの葉 かたみともなれ」という和歌は蓮如上人御作成のもので、後世に形見として佛法の心を伝えたいという思いがあふれていますね。

まず私が僧侶になったきっかけですが、私は4歳からお琴を始め、なんとかうまくなるよう努力を続けてまいりました。しかし20代に入ってから漠然と今の生活がこの先ずっと続くわけがないという不安にかられました。今はそこそこの生活をして、満足しているけれど何か大切なものから目を背けて生きている不安感が胸に残るのです。僧侶となって初めて気づいたのですが、私はお琴の練習はするのに、生きる事、死と向き合う勉強はほとんどしてきませんでした。佛道に導いて下さる方を佛教では善知識と呼びますが、大谷暢順師をはじめ、瀬戸内寂聴先生、野村萬斎氏、曾野綾子氏等の方々との出会いが僧侶への後押しとなりました。特に曾野綾子様とはイタリア・ベネチアに二人で一緒に過ごしました。曾野様も40歳を過ぎて神父様について勉強を始めたこと、私にも今からでも遅くないから是非演奏家と両立して勉強した方が良くと勧めて頂いたことが心に残っています。

さて、伝統音楽は神仏と大変密接な関係があります。有名な世阿弥は正式には世阿弥陀仏と申します。彼は天才少年役者としてデビューしますが、有望な長男に跡目をゆずった矢先、時の將軍足利義教から主催公演禁止、御所への出入り禁止等々地盤を次々に奪われ、しかも長男が外遊先で死亡します。そしてあろうことか、娘婿への家元継承を謀反とされ70歳にして佐渡に流されたのです。彼は不条理と向き合いながらも佛の心を能のシテに演じさせます。「敦盛」では、少年敦盛を討ち取った熊谷直実が、僧侶となり再び一ノ谷を訪れます。木の下で蓮生(熊谷)がまどろむと、若い敦盛が殺された苦しみを語ります。しかし蓮生のお経に苦しみが抜け、昔は敵同士であったが、共に浄土往生する身になろうと敦盛が語るのです。もし自分が殺される、または家族が殺されたとき、このように私達は言えるでしょうか？恨みつらみでそのあとの人生が減茶苦茶になったりしないでしょうか？世阿弥の能では、この世の理不尽な苦しみを、諸行無常の悲しみを溶かし、来世への往生(佛になること)で希望と救いを与えてくれるのです。



◆ 紹介者  
徳田八十吉会員

# 例会報告

★ 11月29日(木)〈例会〉 於：小松グランドホテル  
 ・会員数 63名 ・出席数 41名 ・欠席数 22名 ・出席率 65.08%

## ★メイクアップ届

- ・ 11/26 第2回ロータリー財団地域セミナー 西
- ・ 11/27 第2回ガバナーエレクト研修セミナー 湯浅外志男
- ・ 11/28~29 国際ロータリーゾーン1・2・3  
 第41回ロータリー研究会 湯浅外志男

## ニコニコBOX ☺

中川 公三

大谷さん、今日はお忙しい所おいでいただき、卓話、素晴らしいお琴の演奏ありがとうございました。日本人の特質として、仏教的諦観が根底にある様に思えてきました。

嶋田俊一郎

大谷様、本日はお忙しい中、卓話いただき有難うございます。今後もご健勝でご活躍をお祈り致します。

本村 公志

大谷祥子様、本日は素晴らしいお琴の演奏有難うございました。引き続き町家喜楽庵にて老人ホームの方々が多く出席され、お琴の演奏を楽しみにしています。

小林 朋子

大谷祥子様、貴重な法話をいただき有難うございました。

野尻 順滋

大谷様、お久しぶりです。今日も貴重なお話と素敵な演奏、有難うございました。嶋田幹事、先週いただいた柿、本当に美味しかったです。

徳田八十吉

大谷様、本日は本当に有難うございました。くれぐれもお体を大切になさってください。

## ★事務所開き・第5回地区副幹事会

日時：11月1日(木) 於：小松グランドホテル



ガバナー事務局 事務局員  
堀 真弓 さん

## ★宝友会

日時：11月16日(金)  
 於：ミューレミュー



## ★社会奉仕委員会事業

### 町家琴の演奏会

日時：11月29日(木) 於：喜楽庵



## ★家庭集會

日時：11月20日(火)  
 於：喜楽庵



## 11月誕生祝

13日 本田 外男会員 22日 土定 助勇会員 27日 西 正次会員

## ★11月誕生祝い



ニコニコBOXの年間達成目標 **2,000,000 円!** ニコニコBOX 11月末の累計金額 **732,050 円!**